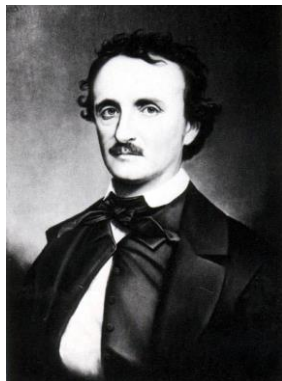


# 『Mind Charging』

第 197 回 発行：入試広報室 発行日：令和 3 年 1 月 26 日

## エドガー・アラン・ポーの名言



**A person dreaming in the daytime knows a lot of things that can not be seen by those who only dream of night.**

昼間夢見る人は、夜だけしか夢見ない人には見えない多くのことを知っている。

夢の内容というよりも、『視点を変えてみる』ということによる効果についてのメッセージだと思います。普段と同じアプローチでは結果も普段通りになる。新たな発見や進化を求めらるなら新たなアプローチが必要なのだと思います。様々な発想から出た結果を自分の人生を充実させるための貴重なデータ(経験)として心に刻むことが重要です。日常の中に自分を変えるヒントが隠されていると思えば何気ない毎日が宝探しのようにワクワクできますね。(編集委員：入試広報室 鈴木)

エドガー・アラン・ポー(Edgar Allan Poe、1809年1月19日 - 1849年10月7日)は、アメリカ合衆国の小説家、詩人、評論家。マサチューセッツ州ボストンに生まれる。旅役者であった両親を早くに失い(父親は蒸発、母親は死亡)、名づけ親の商人アラン家に引き取られ、幼少期の一時期をロンドンで過ごした。帰国後17歳でヴァージニア大学に進む。学業成績は極めて優秀で、詩人としても認められるが、賭博、大酒で悪名を馳せる。養父アランと賭博の借金が原因で仲たがいになり退学。家を出て陸軍に入隊。いったん除隊して養父とのよりを戻し、こんどは士官学校に入学するもなじみず、規則違反行為で退学処分。その後、文筆で身をたてるべく詩や短編小説を創作し始める。(筆名には、養家名のアランをそのまま名乗ることはなく、ほとんどエドガー・A・ポー、あるいはエドガー・ポーとしている)ゴシック風の恐怖小説「アッシュャー家の崩壊」「黒猫」、世界初の推理小説と言われる「モルグ街の殺人」、暗号小説の草分け「黄金虫」など多数の短編作品を発表、また1845年の詩「大鴉」でも評判を取った。また同時に有能な雑誌編集者であり、文芸批評家でもあったが、飲酒の悪癖などでトラブルを起こす癖はなおらず、いくつもの出版社を渡り歩いた。1833年、当時まだ13歳だった従妹ヴァージニア・クレムと結婚するが、1847年に貧苦の中で結核によって彼女を失い、その2年後にポー自身も謎めいた死を遂げた。(Wikipedia 参照)